

(様式1)

学校番号 (小・**中** 015)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北星中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・いじめ問題は重要課題であり、深刻な状況にならないように生徒を見守りたい。
- ・不登校生徒に対する対応や自傷行為、家庭内暴力等に関する知識や対応についての理解を深める。
- ・学校部活動の地域移行を意識した競技の普及・発展を考える。
- ・地域に当協議会の存在と協議事項や課題を認識していただくための情報発信の仕方や意見集約の手法を検討したい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由)

- ・学校から学校経営構想について説明があり、現状が共有できそれに対する課題を理解することができた。委員の疑問に学校が答えながら、委員同士の活発な意見交換により熟議を円滑に進めることができた。
- ・いじめや不登校等に関する基本方針について、取り組み内容に対する結果と課題を明確にしてそれらを熟議の内容にする必要がある。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由)

- ・学校評価アンケートについては、生徒・保護者・教員のそれぞれの視点でアンケート項目を考えることで、学校や地域が求める生徒像や学校像について、具体的な姿として促えるよい機会となった。
- ・休日部活動の地域展開については、学校ができること、地域ができることの話し合いを通じて、子供たちの活動が充実するためにどうしたらよいか考えることができた。しかし、今後の動向について不安を感じている保護者・生徒が多数いることが予想され、課題がたくさんあることがわかった。
- ・学校運営協議会委員だけではなく、協働センター職員とも協議ができ、多くの視点や考えも含めたことで話し合いが深まった。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった

(理由)

- ・学校のホームページに協議会の議事録やCSだよりを掲載しているため、協議内容や学校支援の様子を一般の方々にも発信することができた。ただしどれだけの人が関心をもって見たかは分からない。
- ・前回分の会議録が毎回準備されていたため、話のつながりを意識して熟議に取り組むことができた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・いじめ問題は重要課題であり、いじめが深刻な状況にならないように生徒を見守りたい。
- ・不登校生徒に対する対応や自傷行為、家庭内暴力等に関する知識や対応について理解を深める。
- ・休日部活動の地域展開について、生徒目線で生徒の意見をくみ取することを忘れずに、学校運営協議会としてスムーズな移行のためにどのような取り組みができるか考えたい。